

11月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,878	100	12,210	60	100	69	25	0.2	千葉、神奈川産中心で全体の約8割を占める。千葉、神奈川とも台風26号により一部で冠水や葉折れ等の被害を受けたところがあり、入荷量は前年より少なくなる。全体の入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。
はくさい	13,079	95	12,971	42	119	49	5	0.0	茨城産中心で全体の約8割を占める。茨城は台風26号による横倒し等の被害が一部で見られるものの、入荷量はほぼ前年並みとなる。結球部の肥大は良好で、大玉となっている。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回るものの前年並みとなる見込み。
キャベツ類	14,000	98	12,788	49	125	80	-	0.0	千葉、愛知、茨城産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉は台風26号により一部で冠水したところがあったものの、その被害程度は当初予想よりも軽微で、入荷量は前年並みとなる。愛知は干ばつの影響により小玉傾向で推移している。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年を大幅に上回るものの前年よりは低くなる見込み。
ほうれんそう	1,604	105	1,742	461	87	393	-	0.0	群馬、埼玉、千葉、茨城産中心の入荷となる。群馬は台風による被害は少なく、入荷量は前年並み。埼玉は概ね生育順調で、栽培面積も増加しており、入荷量は前年より多くなる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回るものの前年並みとなる見込み。
ねぎ	5,815	98	5,831	270	98	248	427	7.3	青森、秋田、新潟、茨城、山形産中心の入荷となる。主力の東北産は切り上がり及早まる産地もあるが、前年並みの入荷となる。関東産は台風26号による被害が発生しているところもあり、入荷量は前年より少なくなる。全体の入荷量、価格ともにほぼ前年並みとなる見込み。
きゅうり	4,792	97	4,641	349	100	379	12	0.2	埼玉、群馬、宮崎、千葉産中心の入荷となる。関東産は9月の曇雨天の影響により生育遅れや着果不良のところがあり、入荷量は前年より少なくなる。宮崎は生育順調で、前年並みの入荷となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。
トマト	4,774	105	5,018	554	72	417	-	0.0	熊本、愛知、千葉、茨城産中心の入荷となる。熊本は概ね着果が良好で、入荷量は前年並みとなる。愛知は高温、乾燥の影響により若干小玉傾向であり、出荷ペースも前年より10日ほど遅れている。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。